



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

つい… / ナイス・デイ

気候の変わり目、とくに暖かくなる近頃は、お昼寝も気持ちよいものです。お昼寝する予定ではなかった人もつい一緒になってゴロリ。暖かくなってきて体も心もゆったりしてくると、全体的に雰囲気も変わってきます。みんなふんわり気分。



外部研修 / スタッフ

スタッフ全員、年1回は外部研修を受講する規定になっています。3/5は地域密着型代表者研修に1名。3/5・6はコミュニケーション技法の講習に2名。3/6・7は小規模多機能計画作成担当者研修に1名。先月からの継続でケアマネ研修受講者1名。今月はなにかと研修予定三昧です。研修に出掛けるからには、何かひとつでも身になる事を頭に叩き込んで帰って来たいです。



通い / ナイス・ホーム

ナイスホームの登録利用者さんは2名。「通い」の利用のとき、同じ敷地内にあるナイス・デイに遊びに行き一緒に行事を楽しみます。この日は、おはぎ作り。みんなでワイワイガヤガヤできるのはやっぱり楽しいですね。



出て行っちゃったぁ～ / ナイス・デイ

「Mさんが居ない～～。」
認知症で徘徊の可能性があるという方です。10分前には居たのに……。で、大騒動！！1時間近く探し、ご家族に「もし、自宅に戻られたら教えてください。」と連絡したところ「戻ってきていました。」との返事。何事もなく無事だということを確認できスタッフ全員がホッと一息。「今回は無事に帰っていたけど、何か事故があったと考えたら恐ろしい…。」というのがスタッフの本音です。だからといって鍵をかけるようなことはしたくない。だったら利用者さんをどう見守るのか…。今後の課題



知らなきゃ学べ！！ (パート9)

4月に介護保険制度の改正が行われるからなのか、最近よく「訪問介護でやっていいことといけないことを教えて」という話題を何度か耳にしています。まずは、訪問介護で区分分けされている「身体介護」と「生活援助」はどのように定義されているのかを調べました。

< 身体介護とは >

利用者の**身体に直接**接触して行う介助サービス(そのために必要となる準備、後片付け等の一連の行為を含む)
利用者の**日常生活動作能力(ADL)や意欲の向上のために利用者と共に**行う自立支援のためのサービス
その他専門知識・技術をもって行う利用者の日常生活上・社会生活上のサービス(仮に、介護等を要する状態が解消されたならば不要となる行為であるということが出来る。)

< 生活援助とは >

身体介護以外の訪問介護であって、掃除、洗濯、調理などの日常生活の援助(そのために必要な一連の行為を含む)であり、利用者が**単身、家族が障害・疾病**などのため、本人や家族が家事を行うことが困難な場合に行われるものをいう。(生活援助は、本人の代行的なサービスとして位置付けられることができ、仮に、介護等を要する状態が解消されたとしたならば、本人が自身で行うことが基本となる行為であるということが出来る。)

上記は、厚生労働省通知：老計第10号「訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について」で書かれています。(インターネットで検索できます。)実際にはさらに具体的なサービス内容についても書かれています。当たり前のことですが、介護保険は社会保険として、保険料や税金で運営されています。多様なサービスの利用方法は法令やそれに基づく基準などにより、しっかりと詳細が定められていることを学びました。

仲良しご夫婦 / 愛宕の家

奥さんが、愛宕の家に入居している利用者さん(夫)に会いに来られます。家に居るときは喧嘩になる事も多かったと話されますが、会いに来ている様子を見ると、とても仲良く映ります。



習字 / ナイス・デイ

お雛祭りの行事に使おうと思って色紙。本当は梅の花やお内裏様とお雛様を貼り付けようとしていましたが、「ちょっと一筆……」とサラサラ～と何やら芸術家肌を見せ付けるようなお手前を拝見。「額に入れて飾って見たら売れるかも」との評判もありましたよ。



室内遊園地？ / 社内託児

利用者さんが帰られた後、ナイス・デイは子供達の遊園地(?)となりました。小さめの毛布に三人(1才、2才、4才)が乗っかって、担当していたスタッフがジェットコースターさながらに室内を引きずり回ります。子供相手は体力勝負ですわ……。



ボーリング / ナイス・デイ

ボーリングのピンは、ペットボトルの前面に点数を書き、輪投げの輪は、新聞紙をねじってわっかにしました。全て利用者さん&スタッフのお手製。身が軽い方は、ひょいひょいとピンの間を歩きながらゲーム終了した方のわっかを集めてまわります。やれることは役割分担しましょ！



編集後記

卒業式のシーズンです。中学を卒業した時、国語の先生から贈られた「傘地藏の話で、お地藏さんに傘をかぶせて何も持ち帰らなかったおじいさんに『それは、いいことしなすった』と言ったおばあさんのような女性になって下さい。」という言葉が思い出しました。当時の私にはそれがどういう意味が分かりませんでしたが、「人であれ物であれ、他者のことを真摯に思いやる心を持っている人の言動を目の当たりにしたとき、あなたはその人の言動に対して寛容である人になってほしい」という意味だったのかと思います。これは何事にも通じること。「目の前の人・物・事を大切に。何事も寛容に受け入れる人でありたい。」難しいことです。

制度の見えにくさ / ナイス・ホーム

上記にも記載した研修で、この制度のうたい文句である「24時間365日」の利用方法による利点などの説明が多くありました。反面、事業として成り立っていくのか、また、24時間365日と言っても、利用者さんの出来ることを奪ってしまうような内容では意味がないし……。書類ごとでは、同じ事業所なのにケアマネが居宅サービス計画書、介護スタッフが小規模多機能居宅介護計画書を作成しなきゃいけない等の確認。驚きの情報としては、開設から半年間は人員配置が50%でも大丈夫なんだとか。グループ研修では色々な意見が飛び交い、実際に開設して長い人たちからの生の声を聞くことができたことはとても参考になりました。